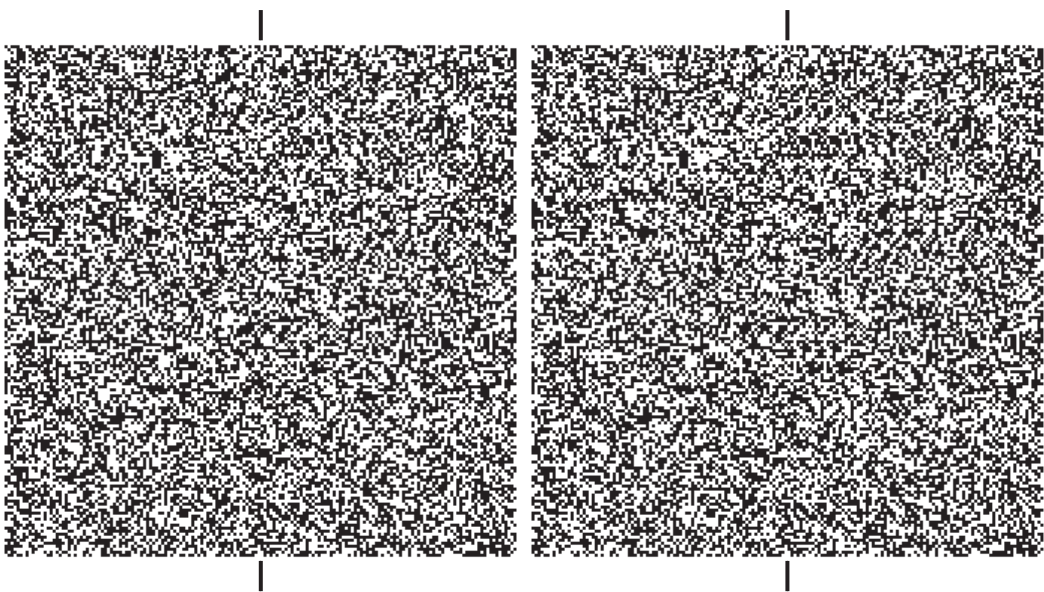


人間科学 研究

第32卷 第2号

2019年9月



人間科学研究投稿規程

- 論文等の著者は本学術院教員（助手・非常勤講師等を含む）、人間総合研究センター招聘研究員、大学院人間科学研究科学生（科目等履修生を含む）、および人間科学学術院学術誌編集委員会（以下「編集委員会」という。）が認めたものとする。但し、本学術院教員（助手・非常勤講師等を含む）との共同研究者は著者に加えることができる。
- 大学院人間科学研究科学生および同科目等履修生が、単独で投稿する際は、本学術院教員の推薦書を併せて提出する。
- 論文等の種類は以下のものとする。
 - ① 「原著論文」：理論的・実証的な研究成果で、新規性、独創性、有用性があるもの。
 - ② 「研究ノート」：緊急性の高い研究報告、あるいは萌芽的発想に立つ研究。
 - ③ 「資料」：研究の基礎的材料や情報を提供する資料的価値のあるもの。
 - ④ 「総説」：最近の学術的知見やその成果を総合的に論述したもの。編集委員会が執筆依頼する場合もある。
 - ⑤ 「書評」：編集委員会が書籍ならびに評者を選定・依頼する。
 - ⑥ 「研究室だより」：各研究室の研究・教育内容を紹介し、最近の研究・教育業績等を報告する。毎号各学科の教員に編集委員会が依頼する。
 - ⑦ 「特別寄稿」：編集委員会で執筆者を選定・依頼する。
- 原著論文、研究ノート、資料、総説については、原稿提出期限は、編集委員会が定めた日とし、投稿された論文を集めて査読を行い、編集委員会の議を経て掲載する。その他の書評、研究室だより、特別寄稿等は査読を行わず、編集委員会の議を経て掲載する。補遺号には定年退職教員プロフィール、修士論文要旨、博士論文要旨および人間総合研究センター主催のシンポジウムの要旨等を掲載する。
- 他誌に発表された論文等は掲載できない。
- 原著論文、研究ノート、資料は、原則として、早稲田大学の「生物実験安全管理規程」「人を対象とする研究に関する倫理規程」「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する規程」「ヒトES細胞の使用に関する規程」の審議に該当する研究については各々の指針に沿ったものとする。
- 原稿は、原著論文、研究ノート、資料、総説、書評等の別を明記し、オリジナル1部、コピー2部、および電子ファイルを提出する。
- 原著論文と特別寄稿の刷り上がりは12ページ24,000字以内（要旨・図表・写真・文献を含む）、研究ノート、資料、総説は6ページ12,000字以内（同上）、書評ならびに研究室だよりは2ページ4,000字以内とする。
- 原稿は横書きとし、ワープロ等で印字されたものとする。
- 挿図原稿は、直接印刷できるようなものとする。図表には、それぞれ必ず通し番号とタイトルをつける。図表の挿入箇所は、本文原稿に指示する。
- 原稿提出の際、1ページ目に題名、英文題名、著者名、所属を記入し、2ページ目に250語以内の英文要旨（本文が英文の場合は600字以内の邦文要旨）、要旨の下にkey wordsを5つ以内列挙し、3ページ目から本文を記載する。
- 原稿はA4版横書き、ページの構成は、23字×43行×2段組とし、ワープロ等で印刷されたものとする。フォントサイズは、邦文の論文・外国語の論文ともに10ポイントとする。
- 博士論文要旨は、刷り上がり2ページとする。修士論文要旨は、刷り上がり1ページとする。シンポジウム要旨等は、刷り上がり1ページとする。
- 引用番号は引用順とし、文献番号を本文の右肩につける。雑誌は、著者氏名：論文題目、雑誌名巻：最初ページ最終ページ（通巻ページ）、発行年（西暦）の順に書く。単行本は、著者氏名：書名、巻数、版数、発行者、発行地、発行年、引用頁を記載する。文献名の省略は原則として関連領域のそれに従う。編著よりの引用は著者名のほか編者名を記す。引用・参考文献、本文中の見出しについては別に定める引用書式細則に従うものとする。
- 校正は、著者が一校まで行うものとする。校正時には原則として訂正を認めない。
- 別刷りは50部まで無料とし、それ以上は本人負担とする。
- 特別寄稿文（定年等の退職教員のプロフィールを含む）、博士学位論文・修士論文要旨、人総研シンポジウム抄録等は補遺（Supplement）に掲載する。
- 本誌に掲載された著作権は原則として著者本人に帰属する。また、編集委員会は本誌掲載原稿の第一次刊行権を有し、本誌版下は編集委員会に帰属する。著者による本誌掲載形態での再録・公開は禁止する。著者は本誌掲載原稿の単行本への再録およびWeb上での公開ができる。再録・公開の際には、本誌掲載原稿である旨を明記する。
- 18条の規定に拘わらず、著者は、著作権のうち、以下の各号について、その行使を、あらかじめ許諾によって、編集委員会に委ねるものとする。
 - (1) 掲載論文等を国立情報学研究所の「研究紀要ポータルシステム」に登録および公開する権利
 - (2) 掲載論文等を「早稲田大学リポジトリ」に登録および公開する権利
- 19条の規定に拘わらず、著者は、自らの著作物である掲載論文等について、編集委員会が前条(1)、(2)の権利を行使することに對し許諾を与えないことができる。その場合、著者は、当該論文等が掲載される本誌の刊行以前に、その旨を文書により、編集委員会に申し出るものとする。

附則 本規定は、2004年11月17日から施行する。

附則 本規定は、2010年1月27日から施行する。

附則 本規定は、2011年10月1日から施行する。

附則 本規定は、2012年1月1日から施行する。

附則 本規定は、2012年12月19日から施行する。

附則 本規定は、2015年12月16日から施行する。

附則 本規定は、2019年1月23日から施行する。

編集後記

人間科学研究の第32巻第2号をお届けします。今回は原著論文6、研究ノート1、資料3、総説1の計11本が掲載されている。

つい最近まで投稿が少なかった状況とは大きく異なることとなった。本誌をより良いものにするための査読や編集システムの改善は今後も進めていかねばならない。編集委員会ではそのための試行錯誤が続いている。今回、多くの投稿に対応して、多くの査読者に労を取っていただいた。ここに改めて大きな謝意を表させていただきます。

2019年9月吉日
(編集委員長 柏 雅之)

表紙について

縦書きと横書きを組み合わせた題字は、異分野・異文化が「学」を要として結びつき展開する人間科学を象徴している。また、中央部に配置されたランダムドットからなる2つの正方形は、それぞれを両眼で観察すると一つの立体が浮かび上がるステレオグラムになっており、人間科学における学の融合と新しい価値の創造を表す。ここで立体視されるのは、本誌の前身であり、1988年から2004年まで発行された人間総合研究センター機関誌『ヒューマンサイエンス』表紙を飾る、「踊る人」のモチーフである。『ヒューマンサイエンス』に記載された説明によれば、「踊る人」は躍動する人間そのものであると同時に「人間によって記録された人間」であり、言わば「観察」と「記録」という人間による科学的営みそのものを自己言及的に表現していると読み取ることができる。この「踊る人」を、人間科学学術院のスクールカラーであるエメラルドグリーンを使用して裏表紙いっぱい描き、「踊る人」に重なるコンテンツ——各論考——の飛躍の願いを込めた。

(三嶋 博之)

人間科学研究 第32巻 第2号 2019年

発行日 2019年9月27日
発行人 藤本 浩志
発行所 早稲田大学人間科学学術院
埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15
〒359-1192 電話04-2947-6849
印刷所 社会福祉法人東京コロニー
コロニー東村山印刷所
東京都東村山市秋津町2-22-9
〒189-0001 電話042-394-1113



www.waseda.jp/hum

Senior Dean: Hiroshi FUJIMOTO
Chief Editor: Masayuki KASHIWAGI
Editorial Board: Koichi NEGAYAMA,
 Masayuki YOKOSAWA, Michikazu ONO,
 Kaneo NEDATE, Tadashi ASADA,
 Tatsunori MATSUI



Waseda University
 Faculty of Human Sciences

CONTENTS

Original Papers

- Yuko Kawakami, Yasunori Nakamura, Kazuko Nin, Chiharu Kogo
 "Learning Status of Nursing Competence in Home care
 Nursing: An Investigation through the Quantitative Text Analysis" ... 157
- Aram Kwon
 "An Effect of Relative Income on Life Satisfaction and Class Identification" ... 171
- Yuko Ibaraki
 "Effect of Information Utilization on Social Participation: A Comparison
 between Early Middle-Aged, Late Middle-Aged, and Older Adults" ... 183
- Daishi Higashide, Daigo Takeuchi, Akinori Yamazaki, Uiko Sumi, Shingo Miura
 "Recent abundance trends of mammals at Sayama hills, Saitama, Japan
 —Impact of establishment and increase of introduced raccoons on native mammals—" ... 197
- Daigo Takeuchi, Daishi Higashide
 "Relationship between wetland vegetation and water level fluctuation, and
 the Wetland Conservation Initiatives in the valley environmental condition in Sayama hills
 —Case study in B area of Waseda University Tokorozawa Campus—" ... 205
- Takayuki Koga, Yuta Takahashi, Shuntaro Okazaki and Rieko Osu
 "Detecting the Number of Compartments Using Convolutional Neural Network" ... 217

Research Note

- Hirofumi Tanada
 "Multicultural-Coexistence (*Tabunka-Kyosei*) Policy for Muslims
 in Local Government" ... 225

Date

- Toru Takahashi, Hiroaki Kumano
 "The relationship between Sensory-Processing Sensitivity and psychosomatic
 maladaptation in Japanese young adults —Examination of sub-factors of
 Sensory-Processing Sensitivity by multiple regression analysis—" ... 235
- Chihiro Moriishi, Ayumi Yamashita, Shunta Maeda, Yuki Tanaka, Hironori Shimada
 "The Relationship between the degree of social anxiety and avoidance
 behavior focused on the change in facial expressions and social contexts: A
 pilot study with a small socially anxious sample using movie stimuli" ... 245
- Hirofumi Tanada
 "Estimate of Muslim Population in the World and Japan, 2018" ... 253

Review

- Motoshi Hiratsuka
 "Characteristics of secondary forest dominated by *Quercus serrata*
 and its relation to human activities in Sayama hills" ... 263

Seminar Communication

- Makoto Inoue ... 273
 Norihiko Kawate ... 275

Abstract of Master Theses

- 2 papers ... 277

Abstract of Doctor Theses

- 7 papers ... 279

Report of the 30th Anniversary Symposium of School of Human Sciences

- Nobuhiro Furuyama ... 293

Report of the Symposium

- Hiroko Takenaka ... 307
 Hiroko Kase ... 313

Report of the forum "Current Topics in Human Sciences"

- Yuji Miyamoto ... 317
 Yuriko Tsuzuki ... 321
 Ryosaku Makino ... 323

目次

原著論文

- 川上祐子、中村康則、任 和子、向後千春
 「在宅看護実習における看護実践能力の修得状況
 —計量テキスト分析による検討—」 ... 157
- コン・アラン
 「相対所得が階層意識に及ぼす影響」 ... 171
- 茨木裕子
 「中高年者の社会参加活動と情報源の活用との関連について
 —年代と活動内容による比較検討—」 ... 183
- 東出大志、竹内大悟、山崎晃典、鷺見羽衣子、三浦慎悟
 「近年の狭山丘陵における中型哺乳類の生息状況とその変化
 —アライグマの定着・増加による在来哺乳類への影響—」 ... 197
- 竹内大悟、東出大志
 「狭山丘陵の谷戸環境における湿地植生と水位変動の関係および
 湿地保全の取り組み
 —早稲田大学所沢キャンパスB地区の事例から—」 ... 205
- 古賀敬之、高橋友太、岡崎俊太郎、大須理英子
 「Convolutional Neural Networkを用いた区画数検出の検討」 ... 217

研究ノート

- 店田廣文
 「地方自治体におけるムスリム住民に対する「多文化共生」
 施策の現状」 ... 225

資料

- 高橋徹、熊野宏昭
 「日本在住の青年における感覚処理感受性と心身の不適応の関連
 —重回帰分析による感覚処理感受性の下位因子ごとの検討—」 ... 235

- 森石千尋、山下歩、前田駿太、田中佑樹、嶋田洋徳
 「表情および社会的文脈の変化に着目した社交不安の程度と回避
 行動との関連—映像刺激を用いた少人数の社交不安傾向者による
 パイロットスタディー—」 ... 245

- 店田廣文
 「世界と日本のムスリム人口 2018年」 ... 253

総説

- 平塚基志
 「狭山丘陵のコナラ (*Quercus serrata*) 二次林の特徴と
 人間活動との関係」 ... 263

研究室だより

- 人間環境科学科 ... 井上 真 ... 273
 健康福祉科学科 ... 河手典彦 ... 275

修士論文要旨

- 2 papers ... 277

博士論文要旨

- 7 papers ... 279

人間科学部創設30周年記念公開シンポジウム報告

- 古山宣洋 ... 293

シンポジウム報告

- 竹中宏子 ... 307
 加瀬裕子 ... 313

「人間科学研究交流会」報告

- 第41回 宮本雄司 ... 317
 第42回 都築由理子 ... 321
 第43回 牧野遼作 ... 323